

第6回議会制度調査特別委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年10月13日(水曜日)			開会	9:55	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:10				
議員の出欠	7 番	木嶋 悦寛	出席	10 番	小林 敏之	出席	13 番	中村 忠士	出席
	8 番	松壽 孝雄	出席	11 番	瀧川 榮子	出席	14 番	佐藤 初雄	出席
	9 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席	15 番	戸田 憲悦	出席
委員外の出席	議長		西原 浩				合計	1名	
事務局職員	事務局長		小島 実	主幹		入田 浩明	合計	2名	
傍聴者数	一般		0名	議会モニター		0名		0名	
	報道関係者		0名				合計	0名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 14番 佐藤	9:55 開会・挨拶
	開催概要説明
	会期1日、出席委員9名、委員外1名 議長
委員長 14番 佐藤	開会挨拶
委員長 14番 佐藤	議事(1)通年議会について
委員長 14番 佐藤	・今まで5回開催し調査してきている中で、現時点での委員の考え方を確認したい。
委員 7番 木嶋	・調整が必要な事項もあるが、導入に関しては不都合が生じる要素はない。 制定に向け具体的な議論を進めてもよいのかなと考える。
委員 9番 今西	・今まで説明や資料を見て検討したが、もう一度議会として検討する必要がある。 議員全員がそれぞれ理解した中で進めた方がいい。 現在の定例会のデメリットが見えていれば別だが、議会・議員活動を見直した中で検討した方がいい。 前向きではあるが、今のところ必要性は感じていない。
委員 11番 瀧川	・別海町は専決処分等の問題はないと思う。 委員会の活性化に今後重点を置いていくのであれば有効かなと思う。
委員 8番 松壽	・基本的に今西議員と同じ意見。 議会基本条例が制定されたので、運営してから考えていきたい。
委員 10番 小林	・松壽議員、今西議員と同じ意見。 通年議会じゃなくても不便を感じていない。 まだ勉強しながら検討するべきであり、現時点では必要ないと感じている。
委員 12番 松原	・いろいろ勉強して、以前から通年議会は必要だと思っていたが、全道的に導入が伸びていない。 専決事項も多くないし、必要な時に臨時会も開催しているので、議会を開会するという意味では問題ない。 通年議会であれば委員会の開催に利点がある。 通年議会を導入したことで、何か弊害があるのか協議する必要がある。
委員 15番 戸田	・これまでの議会で行政に不都合があったか検証しなければならない。 今までは特段の不都合はなかったと思っている。 なぜ少ないのか。 新しいことを何でも取り入れればいいわけではない。
委員 13番 中村	・議会基本条例を具体的にどう進めていくかっていうのはこれから議論して実践していくことが必要だと思うし、政策を作る力を培って町民のための政策提言できるようにと。 例えば、常任委員会の在り方に様々な課題があるように感じる。 なかなか担当から資料が出てこないとか説明待ってくれとか。 常任委員会の一定の緊張感をどうつくるのか考えなければならない。 結論的に言うと、通年議会が役に立つのではないかと思う。 常任委員会の調査事項も開催日も主導的に決めていけるし、委員会活動を活発に

第6回議会制度調査特別委員会 要点記録

			するには通年議会は無効ではないかと考えている。 ただ、疑問点だとかをもっとはっきりさせたいというのは私も共通の認識である。 ・他に何かあるか。 なければ、次に開催までに皆さんの意見をまとめて提示したい。 ・異議なし。
委員長	14番	佐藤	(2)議選監査について この制度に関しても現時点での委員の考え方を確認したい。 ・議選監査制度を調査する中で、歴史とか役割というのはかなり明確になった。 議会活性化の中で議選監査を活かす取り組みについては十分議論されていないということに気が付いた。 制度のメリットやデメリットについてはいろいろ話が出てきたが、資料を読み込んでいく中で、議選監査があることによって制度を上手く生かした議会活性化の取り組みということまでは議論していない。 今の状況の中では難しいだとか、議選を廃止して違う形で議会としての監視機能を高めることに向かった方がいいのかとか、そこまで行く確認がまだされていないところがあることに気がついた。 なので、議選制度が選択制になったので、なくなっていないことを考えると、そこをしっかりと、時間をかけて議論する、確認をしていくということが重要だということなので、今すぐ答えが出るようなことではないのかなと思っている。 ・監査を選ぶ時の議会の雰囲気を感じたまま言わせてもらうと、やはりある程度期数を積んで経験を持った人ということ、そういう状況でなるほどなという理解があった。 ここ最近では若い期数の方でも、監査委員になっている。 そうやってきた時に、監査委員としての活動と議会・議員としての活動の部分がうまくリンクできない状況かなというのを見てきた。 監査というのは、それなりの重みを持った職であると理解していて、議員でありながらも監査委員の4年間の中で、どれだけ踏み込んだことができるのかという、いろいろな部分で、限界があるように見受けられた。 現実的にやってる監査委員さんの話も聞いた時に、いろんな問題点が出てきたなということで、将来的には議会からの監査は考え直していくべきかなと思う。 議員としての活性化云々としては前向きなんだけど、議選監査はある程度役割は終えたかなという気持ち。 ・外山議員の話では、監査に入った途端に、悩みながら職についているということだった。 私はどうすればいいかっていうのは全く結論的にはない。 1期目の時から議会から監査委員が出ることに疑問は持っていた。 どうしていけば議会にとって一番いいのかというところで止まっている。 ・もう少し持続してもいいかなと。 4年は期間が長いので短くならないかなと思うが、個人としては、議選は必要だと思う。 ・必要か必要でないという部分はよくわからない。 今までの流れを見て、監査委員の話を聞いて大変なのはわかるが疑義もある。 もう少し時間をかけて慎重に審査した方がいいのではないか。 ・議選監査は必要性があったから制度が作られたと思う。 議会も人数が多い時は支障なかったが、今の人数になった時に議員の役割と監査の役割で大変になった。 自治法の改正でなぜそうなったかわからないが、監査の重要性は認識しているけど議員活動との両立は大変。 2人いれば町側は大丈夫と言っているの、そういうことなら議選監査はいらない。 ・人選で誰でもいいとはならない。 議会としてなぜ監査委員を出しているのかを考えなければならない。 ・難しい問題だなと思ったのが率直な意見。 続けるにしてもやめるにしても議会としての説明責任がある。
委員	7番	木嶋	
委員	9番	今西	
委員	11番	瀧川	
委員	8番	松壽	
委員	10番	小林	
委員	12番	松原	
委員	15番	戸田	
委員	13番	中村	

第6回議会制度調査特別委員会 要点記録

		町民や行政に対して説明できるように調査しているかという足りないかなと思う。 議員でありながら執行機関に入っているところの大きな矛盾な点をどうするのか。 決算審査の時に、どういう立場でいなければいけないのかなど、いろいろな課題がある。 議会活性化に活用できるとも資料に書いてある。 もっと勉強していかなければならない問題だと思っている。
委員長	14番 佐藤	・他に何かあるか。
委員	7番 木嶋	・大変だからやめるとかやるとかそういう議論にはならない。
		必要だからできた制度だし、それを活かして議会活性化に繋げていくことが重要なんだということを中心に議論する中で、存続については説明責任が発生するので、しっかり考えながら進めなければいけないということは皆さんの話を聞く中で改めて感じた。
委員	9番 今西	・本当にこの議会からの監査がどうなのかという議論は必要。
委員	12番 松原	・16人の議員定数の中ということも含めて検討していただきたいなと。
委員長	14番 佐藤	・他に何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	14番 佐藤	・議長何か意見があれば
議長	西原	・通年議会は半々くらいに割れているのかなと思った。
		委員会が機動的に動けるためにどうしたらいいのかという面では通年議会の導入がメリットなのかなと思う。
		通年議会に取り組んでいくと、突発的な災害対応や感染症対策に関しては有効な制度だと思っている。
		議会の調査権は委員会にしかないし、さらに調査権を確保するということで、委員会が機動的に稼働できる体制を整えていった方がいいのかな。
		先程、中村議員も言ったが、なかなか常任委員会で休会中の調査が行われていない状況があって、運営を見直した方がいいかなと感じている。
		今の形でもできるし、通年議会にしても現状を改善することはできると思うので、議運が委員長同士で協議して整理してもらいたい。
		議選監査に関しては、役割は重要だと思う。
		定数を削減した中で、議会の限界もあるので制度を見直すという考え方もある。
		皆さん方向性は決まっていない状況なので、もう少し調査検討していただきたい。
委員長	14番 佐藤	・全体を通して何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	14番 佐藤	休憩 10:47
委員長	14番 佐藤	再開 11:00
委員長	14番 佐藤	議事(2)災害時における議員の初動及び議会の業務継続計画について
事務局長	小島	・資料により説明
		事務局がたたき台として素案を作成した。
		皆さんに内容を検討していただきたい。
委員長	14番 佐藤	・事務局に素案を作成してもらい提示させてもらった。
		読み込んでもらって、次回で協議したい。
事務局長	小島	・スケジュールは来年2月までである。
		たたき台に肉付けする事項があれば、今後の委員会で協議してほしい。
委員	12番 松原	・以前も災害対応の基準はあったと思う。
		さらに具体的になったものが素案という認識でいいか。
事務局長	小島	・元からあるやつから具体化している。
委員長	14番 佐藤	・他に何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	14番 佐藤	その他
		・次回委員会は、11月10日前後で予定し、正式な日程は正副委員長で決定する。
委員	一同	・異議なし
委員長	14番 佐藤	閉会挨拶

第6回議会制度調査特別委員会 要点記録

委員長	14番	佐藤	11:10	閉会
-----	-----	----	-------	----